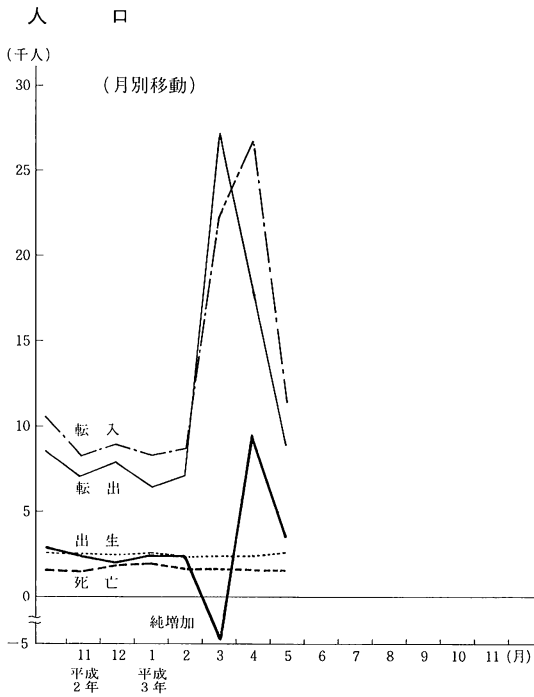
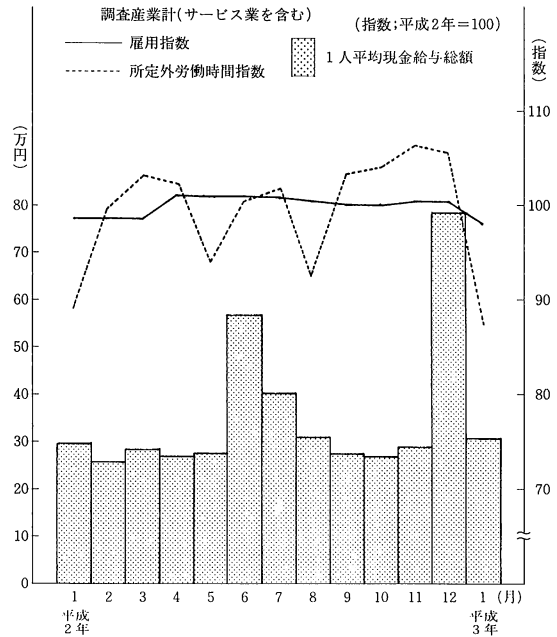


● 今月の主な動き

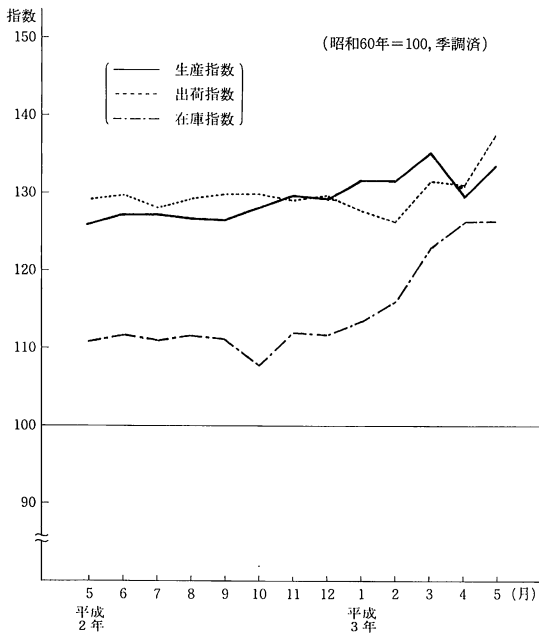
# 今月の主な動き



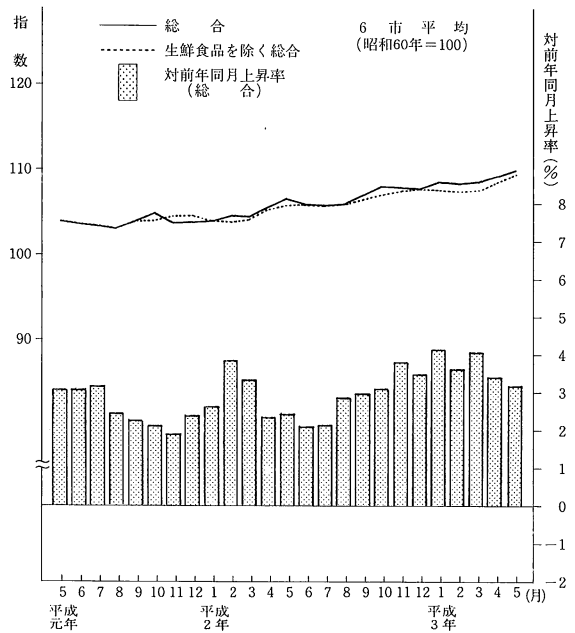
賃金・労働時間・雇用



鉱工業指数(生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし ..... 企画部 統計課

■ 人 口 (6月1日)

本県の人口は、5月中に3,377人増加し、6月1日現在で2,865,454人(男1,430,109人、女1,435,345人)となった。

内訳は、自然動態で993人(出生2,561人、死亡1,568人)増加し、社会動態で2,384人(転入11,279人、転出8,895人)増加した。

市町村別では、増加が17市45町村、減少が3市21町村、増減なしが2村である。

世帯数についても5月中に2,540世帯増加し849,427世帯となった。

■ 賃金・労働時間・雇用 (1月)

1. 平均賃金の推移

1月の現金給与総額は、調査産業計で308,068円、前年同月比5.5%増、このうちきまって支給する給与は266,563円、前年同月比4.7%であった。また、このうち所定内給与は237,746円、前年同月比5.3%増であり、超過労働給与は、28,817円、前年同月比2.4%増であった。

なお、物価上昇分を差し引いた実質賃金は、前年同月比0.8%増であった。

※この地方調査の結果は事業所規模30人以上です。なお、事業所規模5人以上の結果についての問合せにも応じます。

2. 労働時間

1月の総実労働時間は、調査産業計で、148.4時間、前年同月比4.2%減であった。このうち所定内労働時間は、134.3時間、前年同月比4.4%減、所定外労働時間は、16.9時間、前年同月比2.2%減であった。

3. 雇用の動き

1月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると前年同月比0.7%減であった。

■ 鉱工業指数<生産・出荷・在庫> (5月分)

本県における平成3年5月の“鉱工業指数”(昭和60年=100)は、季節調整済指数で、生産が133.3、出荷が137.7、在庫が126.0で、前月比は、生産が2.5%の上昇、出荷が5.2%の上昇、在庫が0.1%の上昇であった。

前年同月比(原指数)は、生産が5.9%の上昇、出荷が6.9%の上昇、在庫が13.4%の上昇であった。

業種別に前月比をみると生産では、鉱業、石油・石炭製品工業、輸送機械工業等が上昇し、金属製品工業、化学工業、窯業・土石製品工業等が低下した。出荷では、鉱業、

一般機械工業、金属製品工業等が上昇し、非鉄金属工業、繊維工業、石油・石炭製品工業等が低下した。在庫では、電気機械工業、非鉄金属工業、繊維工業等が上昇し、鉱業、金属製品工業、石油・石炭製品工業等が低下した。

特殊分類別にみると生産では、鉱工業用生産財、資本財等が上昇し、建設財、その他用生産財が上昇した。出荷では、資本財、非耐久消費財等が上昇し、耐久消費財が低下した。在庫では、耐久消費財、鉱工業用生産財が上昇し、その他用生産財、建設財が低下した。

■ 消費者物価指数 (5月)

平成3年5月の茨城県消費者物価指数(6市平均)は、総合で109.9(昭和60年=100)となり、前月比0.6%の上昇、前年同月比3.2%の上昇となった。

今月上旬がった主な項目……果物23.6%、シャツ・下着6.6%、衣料6.3%、履物類1.3%

今月下旬がった主な項目……野菜・海草△6.1%、乳卵類△3.7%

生鮮食品を除く総合は109.1となり、前月比0.6%の上昇、前年同月比3.2%の上昇となった。

費目別指数

(昭和60年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	109.9	0.6	3.2	保健医療	106.1	0.1	0.5
食 料	110.2	0.4	3.9	交通通信	103.6	△0.1	1.0
住 居	121.1	0.3	4.9	教 育	125.5	0.2	0.8
光熱・水道	92.6	△0.1	3.7	教養娯楽	114.3	0.4	3.9
家具・家事用品	101.4	0.6	1.2	諸 雑 費	107.2	0.2	1.1
被服及び履物	117.9	4.7	5.6	生鮮食品を除く総合	109.1	0.6	3.2